

2015年7月発行

梶原正憲

☎ 44-4719

☎ 090-5389-9936

議会だより



安全安心ネットワークイベントに参加 (平成27年7月) (旭原町内会)

暑中お見舞い申し上げます。

去る5月29日に屋久島町、口永良部島の新岳が噴火し、住民が島外に避難されていることに、心からのお見舞いを申し上げ一日も早い帰島を念願しています。

鹿屋市においても、今年度から運用開始している防災行政無線の活用で防災・減災に取り組んでいます。(未設置のところは無償貸与ですので申込下さい。)

今年の梅雨は、例年の約3倍の降雨があり、土砂災害や農作物の被害が聞かれましたが皆様には、お変わりなく、御健勝のこととお慶び申し上げます。

私も、3月議会閉会以降、統一選挙の県・市・町議会選挙の応援や町内会・各種団体の総会・意見交換会に参加して多くの方々との「ふれあい・絆」を深めると共に、市民相談等の解決に向けて全力で取り組んでおります。

さて、鹿屋市議会6月定例会は、6月12日～7月2日まで21日間の会期で開催されました。

鹿屋市個人番号カードの利用に関する条例制定や97,435千円の一般会計補正予算(第一号)など議案12件・報告1件・陳情1件・意見書3件が上程され、慎重審査を行い別紙のと通りの結果になりました。

そして、一般質問(16名登壇)が行われ、国の安全保障関連法案に対する認識や米軍再編に伴う空中給油機KC-130の訓練にかかわる騒音・安全问题並びに教育長就任の抱負・学力向上や福祉・農林商工・観光行政、空き家対策、プレミアム商品券発行などについて、当局の見解を求めました。

中西市長は質問に対し、国際情勢や安全保障にかかる周辺環境が大きく変化していく中で、国民の安全をどのように確保して行くのかという観点から国会で議論されていると思う。国家・国民にとって重要な事項であり国民に丁寧に説明してほしい。在日米軍の再編は米軍の抑止力の維持しつつ、沖縄の負担を軽減するための取り組みとして進められている。日米ロードマップで示されていた在日米軍の部隊の移転先や訓練の移転先42市町村のうち名瀬市と鹿屋市を除いた40市町村が受け入れを表明している。

空中給油機KC-130の訓練については、説明会の開催で市民に丁寧に説明を行うよう努力し、十分な意見を聞き、市民の安全・安心を第一に対応していくなど答弁した。

又、中野新教育長は、就任にあたっての思い、抱負として、地域・保護者に信頼される学校づくり、①子どもの学力をつける(感動・感化)、②教育者としての自覚をもつ(魂の設計者たれ・あこがれの指導者たれ・生涯修業の人たれ)、③地域を巻きこんだ教育活動の展開(学校応援団活動の充実)等に取り組んでいくと力強く述べた。

一般質問に対しての当局答弁・重点記録

1. 企業誘致について

- A 基幹産業である第一次産業を生かした食品加工や食品関連産業、電子・機械並びに情報通信関連産業に人的ネットワークを活用して取り組む。

2. 空き家対策について

- A 条例（空き家等の適正管理）補助金（危険空き家の解体）で対応する。
・危険家屋 448軒うち指定書送付 406件、解体などにより 157件対応済み。
・補助金は、平成26年度は 32件（8,254千円）、平成27年度は5月まで 17件（4,189千円）実施。

3. マイナンバー制度について

- A 国民一人一人に個人番号（12桁）を通知し、税・社会保障・災害対策に活用する。
・印鑑証明証、住民票や税務証明書を取得するカードである。
・情報セキュリティ研修等の実施で万全の対策をとる。

4. プレミアム商品券について

- A 国の地方創出（消費喚起事業）により、発行額9億円、プレミアム率20%、1人限度額5万円、総額10億8千万円のプレミアム商品券を発行する。
・事前申し込みにより、重複購入のチェックを行い、多くの市民に活用してほしい。
・商品券販売先は、鹿屋商工会議所・かのや商工会（3カ所）・郵便局（22カ所）、計26カ所となる。

プレミアム商品券見本



5. 大隅広域夜間急病センターについて

- A 内科・小児科の夜間急病時に対応して、突発的な発熱や腹痛などの外来診察と電話相談を指定管理者の鹿屋市医師会が担当・運営している。
・平成25年度利用者 7,175人、電話相談 5,409人
・平成26年度利用者 6,777人、電話相談 5,134人

平成27年度一般会計補正予算（第一号）主な事務事業

戦略 雇用と所得につながる力強い産業をおこすまちづくり（事業費 17,939千円）

- (1) ニューファーマー育成事業 (2,550千円)
新たに就農する研修者（2名）の農業知識や技術を修得する必要な経費を支援する。
- (2) 学校給食地場食材利用拡大モデル事業 (4,478千円)
新たなメニューの開発や試食並びに生産農家の出前講座等を実施する。
- (3) 農業・農村サポート事業 (1,263千円)
農作業や農村活動を応援する「かのや農援隊」の創設に向けて、仕組みと組織化への取り組みを推進する。



戦略 心豊かに学び、地域文化を育むまちづくり（事業費 13,636千円）

- (1) 小中学校教育振興備品購入経費 (7,000千円)
寄付金を活用し、大始良小・中学校の図書備品や楽器を購入する。
- (2) 笠野原小学校耐力度調査事業 (3,000千円)
児童数の増加に対応するために管理教室棟の耐力度調査を実施する。
- (3) 英語教育強化地域拠点事業 (1,653千円)
鹿屋小・祓川小・東原小・鹿屋中・鹿屋女子校が「英語教育強化地域拠点事業」研究校に指定されたことから、授業内容や授業の組み方の先進的研究・検証を実施する。



戦略 安全で快適に暮らせるまちづくり（事業費 49,191千円）

- (1) 過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業 (18,500千円)
串良町柳谷地域（17町内会）で構成される「上小原ふるさとの会」が実施する唐辛子の加工施設・宿泊施設などの整備による地域間交流の活性化を支援する。
- (2) 臨時福祉給付金国庫補助金返還金 (30,691千円)



その他 地域振興基金積立（事業費 13,000千円）

- (1) 市民からの寄付金を積立てて、今後の地域振興や観光振興に充てる。

平成27年度6月定例会 議案一覧及び結果

議案番号	議 案 名	概 要	結果等
議案第37号	鹿屋市個人番号カードの利用に関する条例の制定について	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律	原案可決
議案第38号	鹿屋市個人情報保護条例の一部改正について	市が保有する特定個人情報の適正な取扱いの確保措置等について、規定の整備を行う	原案可決
議案第39号	鹿屋市印鑑条例の一部改正について	個人番号カードの利用による印鑑登録証明書の交付等について、規定の整備を行う	原案可決
議案第40号	鹿屋市手数料条例の一部改正について	通知カード及び個人番号カードに係る再交付手数料を定める	原案可決
議案第41号	鹿屋市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	小規模保育事業所等の保育士の数の算定対象となる職員について、規定の整備を行う	原案可決
議案第42号	鹿屋市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部改正について	要介護者に対する地域密着型サービスに係る運営基準について、規定の整備を行う	原案可決
議案第43号	鹿屋市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部改正について	要支援者に対する地域密着型サービスに係る運営基準について、規定の整備を行う	原案可決
議案第44号	鹿屋市と東串良町との間におけるし尿処理に係る事務委託に関する規約の変更について	委託事務の範囲を明確にする	原案可決
議案第45号	鹿屋市と肝付町との間におけるし尿処理に係る事務委託に関する規約の変更について	委託事務の範囲を明確にする	原案可決
議案第46号	財産(土地及び建物)の処分について	立地企業の定着を支援するため、当該立地企業に貸し付けている財産を処分する	原案可決
議案第47号	平成27年度鹿屋市一般会計補正予算(第1号)	補正額 9 7, 4 3 5 千円	原案可決
議員議案第2号	鹿屋市議会会議規則の一部改正について	男女共同参画を参考に議会活動を促進する	原案可決

報 告	件 名	報告年月日
報告第3号	事故の和解及び損害賠償の額を定めることについての専決処分について	H27.6.12

陳 情	件 名	結果等
陳情第9号	株式会社ナザワ代表取締役社長金沢幸一氏に対して東原町民との会合に参加するように市当局から働きかけることを求める陳情	不採択

意見書	件 名	結果等
意見書第3号	「安全保障関連法」制定に反対する意見書(案)	否 決
意見書第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書(案)	原案可決
意見書第5号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための2016年度政府予算に係る意見書(案)	否 決

空中給油機 (KC-130) の訓練概要について

米軍再編に伴い、岩国基地の運用増大による影響を緩和するために鹿屋基地及びグアムに定期的にローテーションにより訓練をする。

訓練概要は、次の通り

- ・離発着訓練……タッチ・アンド・ゴー等の訓練で日中・夜間に、月8回程度
1回当たり約4時間程度
- ・地上給油訓練……ヘリコプターやオスプレイに給油を行う訓練、月2回程度
1回当たり約6時間程度
- ・荷下訓練……貨物用パレットを下す訓練、月2回程度
1回当たり約4時間程度

* KC-130は、訓練1回につき、1機飛来し、日帰りを基本とする。

* KC-130の騒音については、海上自衛隊のP-3Cと同等程度

* 鹿屋基地での飛行回数は、海上自衛隊が年間37,700回、

KC-130が2,300回程度の計40,000回程度となる。

(所 感)

防衛問題は、国の専管事項とは認識しつつも、在日米軍の両編による空中給油機KC-130の訓練については、騒音問題や市民の安心、安全への懸念などと沖縄の負担軽減や国の対応策を踏まえて、安心・安全を第一に取組みたい。



防衛省の説明会



KC-130J

(防衛省資料より)



MV-22

(防衛省資料より)

所管事務調査実施

1. 調査期日 ・平成27年5月13日(水)～5月15日(金)

2. 調査場所・調査項目 (1) 山口県 岩国市 ・基地対策について

岩国市の概要、基地に対する基本姿勢、在日米軍再編問題の経緯としての取り組み、空中給油機KC-130の移転容認に関する市民対応等についてヒヤリング・質疑を行った。

＝まとめ＝

岩国市の取り組みとして、基地に対する基地対策の基本姿勢や再編問題の経過、騒音の発生状況、大気汚染、苦情処理などの状況をホームページなどで公開している。

また、地元の負担と協力に見合うだけの財政的な支援も得られるよう国と細かく調整することにより、対立から協調をスローガンに岩国の再生を図り、市の長期的な発展が築いていけるよう努力し、これを基本姿勢としている。

鹿屋市においても、対話と協調が最も重要と考える。

岩国市の、市民の安全・安心を第一とした基地との共生協働の取り組みを参考に、市民・事業者・行政が、それぞれの責務を自覚し、基地との良好な関係を維持していくべきと考える。

3. 調査場所・調査項目 (1) 山口県 下関市 ・生活バスについて

山口市の概要、生活バスの概要、具体的な取り組みや利用状況・利用促進策、地域からの要望と今後の課題などについてヒヤリング・質疑を行った。

＝まとめ＝

下関市は、「バス交通整備計画」に基づき、各総合支所が主体となって支所ごとの実態に応じた取り組みを積極的に進めていた。

しかし、高齢化や人口減少が進むにつれ、利用者の減少が課題となっている。

鹿屋市においても巡回バス、ふれあいバス等の取り組みがなされているが、利用率が低い現状がある。

今後は、福祉と一体となった利用方法の展開や本市ならではのサービスを模索し、国・県と一体となった取り組みを推進する必要がある。

また、交通弱者や本当に必要な地域のために、市民一人一人が福祉の認識を高める必要があることから、市民への地道な啓発活動を継続して実施することにより、市民全体が住みよいまちづくりへの目標に近付いていくのではないかと考える。



視察先でのヒヤリングスナップ

鹿屋市農業委員会委員(40名)選出! (任期 平成27年8月1日～平成30年7月31日)

議 会 推 薦 者 (4 名)	川 崎 守	上 越 川 町	公	鹿屋地区(15名)	清 水 武 継	獅子目町
	村 山 みつ子	串良町上小原			中 塩 屋 均	小野原町
加 賀 悟	吾平町麓	西ノ原 敏 男			上 谷 町	
栗 山 タ カ	輝北町上百引	榎 原 辰 夫			南 町	
J A 推 薦 者 (3 名)	堀之内 節 子	肝付吾平	選	串良地区(7名)	下 飯 屋 勝 哉	浜 田 町
	大 山 稔	そお鹿児島			山 下 繁	有 里
	7/27選出予定	鹿児島きもつき			泊 義 秋	有 里
農 業 共 済 組 合 推 薦 者 (2 名)	木 下 和 明	肝 属	当	吾平地区(4名)	田 中 次 男	細 山 田
	上 野 輝 男	曾 於			倉 田 雪 男	細 山 田
土 地 改 良 連 合 会 推 薦 者(1名)	畠 井 孝 二	鹿 屋	選	輝北地区(4名)	野 崎 陽 一	上 小 原
公 選 当 選 者	寺 下 幸 弘	旭 原 町			者	輝北地区(4名)
	岡 元 茂	横 山 町	新 村 良 廣	細 山 田		
	武 元 悟	笠 之 原 町	萩 崎 英 珍	上 名		
	飯 屋 蘭 俊 郎	花 岡 町	上 之 原 昇 龍	上 名		
	木 場 夏 芳	越 川 町	倉 岡 愛 子	上 名		
	福 岡 卓 二	飯 隈 町	福 元 康 光	下 名		
	釘 田 秀 人	東 原 町	障 子 田 勝	上 百 引		
	山 中 建 夫	王 子 町	新 原 晃 憲	上 百 引		
江 並 信 義	上 高 隈 町	有 村 隆 謙	訪 原			
福 元 利 夫	川 西 町	永 吉 徳 光	平 房			

健康に留意の上、ご健闘・ご活躍をご期待申し上げます